

## 「サウジアラビア・日本 バイオテックセミナー」を開催

2024年10月16日

一般財団法人 中東協力センター

中東協力センターは10月9日、サウジアラビア投資省と共催で「サウジアラビア・日本 バイオテックセミナー」を開催し、国内外から175名が参加しました。このセミナーは、10月9～11日の3日間、パシフィコ横浜にて開催された国内最大級のバイオテック展示会「BioJapan2024」の一環として実施されたものです。

セミナーではまず、サウジアラビアから来日した投資省副大臣補佐のアンマール・アルタフ氏から、セミナー開催への謝辞、Saudi Vision2030の主要な柱の一つとしてバイオテック戦略を推進している点、バイオテック分野における日本企業の投資促進期待について冒頭挨拶がありました。続いて国家警備隊保健省 CEO 兼 キングサワード・ビン・アブドゥルアジーズ保健科学大学学長 兼 キングアブドゥラ国際研究センター総裁であるバンダル・アルクナウィ閣下から、日本とサウジアラビアのバイオテック分野における産官学各層でのコラボレーションやパートナーシップの可能性への期待や11月にリヤドで開催されるRiyadh Global Medical Biotechnology Summitの紹介などについて発言がありました。



バンダル・アルクナウィ閣下



小松慶太 総括補佐

投資省のモハメド・アルフェハイド産業バイオテック部門長からは、サウジアラビアが2030年、2040年までに達成を目指す目標指数、レッドバイオ（医療・ヘルスケア分野）、ホワイトバイオ（工業・エネルギー分野）、グリーンバイオ（食糧・植物分野）などの注力分野や産官学の取り組み、さらには投資省の投資プログラムについて紹介がありました。

日本側からは、経済産業省商務・サービスグループ生物化学産業課の小松慶太総括補佐が登壇し、「日・サウジ・ビジョン 2030」に基づく両国の緊密な連携の経緯や日本政府が今年6月に策定した「バイオエコノミー戦略」の概要、日本国内におけるバイオテック分野の取り組みと経済産業省による支援などが紹介されました。

また、当センター専務理事の表からは、センターの設立経緯や活動内容、さらにサウジアラビアへの進出を検討する日本企業向けの支援スキームについて説明がありました。

セミナー後のネットワーキングでは、短い時間の中でも日本企業やサウジアラビアの民間企業、投資省、当センターの参加者間で活発なコミュニケーションが図られました。

中東協力センターでは、引き続き経産省および投資省と協力し、両国のバイオテクノロジーおよびバイオインダストリー分野における連携活動を支援してまいります。



表 尚志 専務理事

以上